

# キャリアの道について

		定義	資格名称	対象ラダーレベル
専門領域（対象別）	がん看護	がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った看護を提供する人材。	・日本医療リンパドレナージセラピスト ・グリーンケアアドバイザー ・臨床輸血看護師 ・国がん相談支援センター相談員	I 以上
	手術看護	周術期における患者の安全を守り、手術が円滑に遂行できるよう専門知識と技術を提供する人材。		I 以上
	救急看護	突発的な外傷、救急疾患、慢性疾患の急性増悪などのさまざまな状況によって、場所、疾患、臓器、対象の発達段階、診療科、重症度を問うことなく救急処置を実践する人材。	・フライトナース ・BLSインストラクター	I 以上 フライトナース：看護師経験5年以上かつ初療経験2年以上（当院）
	災害看護	災害発生時、災害拠点病院としての役割を果たす人材。	・DMAT隊員 ・災害支援ナース	I 以上 DMAT：経験年数5年以上、かつ救命救急センター2年以上（厚生労働省） 災害支援ナース：実務経験5年以上（日本看護協会）
	母性看護	妊婦褥婦の経過に責任をもって自律した実践ができ、ハイリスクへの移行を早期に発見し対処する人材。	・アドバンス助産師 ・マタニティービクスインストラクター ・マタニティーヨガインストラクター ・新生児救急蘇生インストラクター	I 以上（母性看護）
	小児看護	15歳未満の全科の患者を対象とし、子どもたちが健やかに成長・発達していけるように援助を行うとともに、両親の育児技術の習得に努め退院後の生活が安定して送れるように支援する人材。	・新生児救急蘇生インストラクター	I 以上
	高齢者・認知症看護	高齢者・認知症の患者の特徴をふまえ、患者・家族に対して専門的な知識と技術、さらには倫理観を持って質の高いケアを提供する人材。	・認知症ケア専門士	I 以上 認知症ケア専門士：3年以上の認知症ケアの実務経験を有する（日本認知症ケア学会）
	地域看護	院内における退院支援活動を積極的に促進するため、地域の医療及び福祉の円滑な連携の推進に寄与し、病気をもちながらもよりスムーズに退院調整することができる人材。	・医療福祉連携士	I 以上 医療福祉連携士：2年以上の医療福祉連携に関する実務経験を有する（日本医療マネジメント学会）
専門	専門看護師	「実践」・「相談」・「調整」・「倫理調整」・「教育」・「研究」の6つの役割をもち、看護分野の複雑な看護現象への対応、効率的な看護実践、多様な保健医療福祉システムの調整、専門看護実践に基づく看護学の向上のために院内外を問わず横断的に活動する人材。	1 3 分野	Ⅲ以上 看護師実務研修5年以上、通算3年以上は専門看護分野の実務研修をしていること。（日本看護協会）
	認定看護師	「実践」・「指導」・「相談」の3つの役割をもち、特定の看護分野で熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践と、看護現場における看護ケアの拡大と質の向上のために院内外を問わず横断的に活動する人材。 A過程：特定行為研修を組み込んでいない B過程：特定行為研修を組み込んでいる	2 1 分野	Ⅲ以上 看護師実務研修5年以上、通算3年以上は専門看護分野の実務研修をしていること。（日本看護協会）
	特定行為取得者	特定行為は、診療の補助であり、看護師が手順書により一定の診療の補助を行うことができる。実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能がを習得した人材。		Ⅲ以上
看護教育	臨床教育	看護局の教育担当者として、スタッフのキャリア支援を行い、継続教育を企画実施し、人材育成に携わる者で、看護職の教育・指導を行う人材。	・シミュレーションインストラクター	Ⅲ以上
	臨地教育	看護学科の教員と連携し、教育と臨床をつなぐ者。病院見学や実習の環境を整える人材。	・臨床実習指導者	Ⅲ以上
	キャリア支援	看護職の魅力と当院の魅力アピールし、人材確保に向けて外部へアプローチしていく者。また、就職後も個々の看護師のキャリアアップに向けて相談・支援を行う人材。		Ⅳ以上
熟練	特定の専門あるいは看護分野に関わらず、どのような対象者に対しても経験と継続教育によって習得した多くの暗黙知に基づき、その場に応じた知識・技術・能力を発揮できる人材。		Ⅳ以上	
看護管理	看護の対象者のニーズと看護職の知識・技術が合致するよう計画し、財政的・物質的・人的資源を組織化し、目標に向けて看護職を導く人材。	・認定看護管理者教育課程サードレベルを終了 ・師長以上の職種で管理や試験が3年以上ある者で、看護系大学院において看護管理を専攻し、修士号習得者	Ⅳ以上	
専門領域（医療の質保証）		定義	要件	
	医療安全管理者	医療安全管理者とは、各医療機関の管理者から安全管理のために必要な権限の委譲と、人材、予算およびインフラなど必要な資源を付与されて、管理者の指示に基づいて、その業務を行う人材。	医療安全管理者養成研修を受講し終了した者。	Ⅲ以上
	感染管理者	医療関連感染の予防のため、菌の検出状況とアウトブレイクについて把握し、感染対策チーム（ICT）の一員として、感染対策への指導を実施する。また、抗菌薬の適正使用について検討・介入する人材。	感染認定看護師が望ましい	Ⅲ以上
	情報管理者	看護に関する様々なデータ処理を行い、データを活用しながら看護の質の向上に向けて、活動する人材。	Excelや統計処理、データ集計能力に興味が高く、データ処理ができること	Ⅲ以上
	看護記録監査者	看護記録の充実に向け、記録の監査を行い、ケアプロセスのわかる記録、誰がみてもわかる記録ができるように支援し、看護の質の向上につなげる人材。	記録のガイドラインを熟知し、記録の監査ができること。院内研修やテストを受講し合格した者	Ⅲ以上
	クリニカルパス認定者	医療の質の向上のために、治療や看護の標準化・最適化に向け、院内におけるクリニカルパスの導入・運用および改善を支援する人材。	クリニカルパス認定士（日本クリニカルパス学会）	Ⅲ以上
	健康管理者	労働安全衛生法において定められている、労働条件、労働環境の衛生的改善を行い、働きやすい職場環境を整えると共に、疾病の予防処置と職員の健康管理を行う人材。	保健師資格取得者。安全衛生技術試験協会の第1種衛生管理者国家試験に合格した者	Ⅲ以上
医療コンシェルジュ	医療機関での接遇のスペシャリストとして、病院内を速やかにご案内することで、待ち時間の短縮や効率的な受診を支援する者。来院される方やお困りの患者に対し総合的なサポートを行い、来院した方へのご要望にお応えする人材。	接遇に関する研修を受講し、資格を習得している者	Ⅲ以上	